



「スポーツの力」を活用した街づくり

スポーツには「する」「観る」「支える」などの活動を通じて、暮らす人々や働く人々、憩う人々の心身を健康にするだけでなく、新しいつながりを生み出し、コミュニティを活性化する力があります。「都市に豊かさや潤いを」をグループステートメントに掲げ、経年優化的な街づくりをめざす当社は、スポーツを魅力的な街をつくる上で重要な要素と捉え、「スポーツの力」を活用した街づくりを推進していきます。

BE THE CHANGE

さあ、街から世界を変えよう。

「BE THE CHANGE さあ、街から世界を変えよう。」というスローガンを掲げ、「発信する」「つなぐ」「受け入れる」というテーマのもと、自らが変化となり、街づくりを起点に、人や地域や社会にいい変化をつくりだし、変えていくことをめざしていきます。

三井不動産スポーツアカデミー for TOKYO 2020

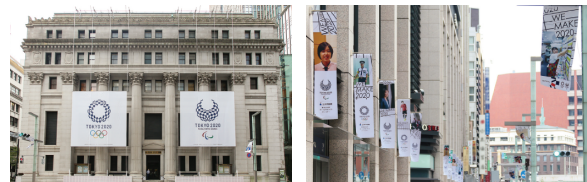
講師に一流のアスリートを招いて、オリンピックとパラリンピックの競技紹介や、体験会を実施するスポーツ教室です。三井不動産が街づくりを進めるエリアの小中学校や「ららぽーと」、「三井アウトレットパーク」など全国の商業施設で開催しています。一流アスリートと直接触れ合う体験を通して、地域に住む子どもたちをはじめ、多くの人たちをつなぎ、街のコミュニティを活性化することで、それをレガシーとして未来に継承していくことをめざしています。



▶ クライミングアカデミー

日本橋シティドレッシング for TOKYO 2020

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催の1000日前となる2017年10月28日から11月29日まで、大会のエンブレムやアスリートの肖像で街を装飾するシティドレッシングを実施しました。「WE MAKE2020」をテーマにアスリートだけでなく、参加型の企画により観る人、支える人なども含めた「みんなで作る東京2020大会」を体感するイベントとして日本橋から東京2020大会を応援しました。



▶ 三井本館のドレッシング

▶ ドレッシングイメージ



東京2020ゴールド街づくりパートナー

三井不動産は、不動産開発における東京2020オリンピック・パラリンピックのゴールド街づくりパートナーです。

「ゴミの落ちていないキレイな街」の文化を レガシーとして後世に遺す競技会場の美化活動



2017年8月18日・19日の両日、秩父宮ラグビー場で開催された「ジャパンラグビー トップリーグ開幕戦」の4試合にて、環境保全活動の一環として、競技会場の美化活動「KEEP THE STADIUM CLEAN」を実施しました。これは、「ゴミの落ちていないキレイな街」の文化を競技会場で育み、街へと波及させながら、後世にレガシーとして遺すことをめざすプログラムです。選手や学生の方々にボランティアとして参加いただき、約19,000人の観客の皆さまに、観戦後のゴミ拾いを呼びかけながら2日間でゴミ袋13,500枚を配布しました。多くの観客の皆さまがゴミ袋を受け取り、活用してくださったことから、他の競技でも同様の美化活動を展開していく予定です。

ソフトレガシー

- 日本の良さを東京を舞台に魅せる
- 地方の魅力を発信
- 東北発次世代育成サポート
- スポーツ・健康
- 障がい者スポーツサポート
- 誰もが暮らしやすい社会づくり

競技会場での美化ボランティア活動の事例

① 会場集合



当日の活動についてオリエンテーション。

② 会場美化の呼びかけ開始



来場者にゴミ袋を配布し美化の協力を呼びかけ。出場選手にもお手伝いしていただくことも。



③ ゴミ袋配布終了



予定配布枚数を渡し切って一旦活動が終了。集合写真を撮影。

④ ビジョンで活動を告知



ハーフタイムなどに会場内のビジョンを使い美化活動の協力を呼びかけ。

⑤ 試合後



配布したゴミ袋を活用して積極的にゴミ拾いに協力くださり、観客席は非常にきれいになりました。